

深良用水 通水350周年

— 歴史的偉業 次代へつなぐ感謝の気持ち —



芦ノ湖の水を引くため、1666（寛文6）年から4年近くの歳月をかけて箱根外輪山にトンネルを掘り完成した深良用水。今年の4月25日(土)で1670（寛文10）年の通水から350周年の節目を迎えます。私たちの暮らしと共にある深良用水の恩恵を改めて考えてみましょう。

生活に欠かせない用水として

箱根外輪山を掘った約1,280mのトンネルで導かれた芦ノ湖の水は、深良川や黄瀬川に至ります。その水は各地に設置された堰によって集落に引き込まれ、周辺の田畑を潤すかんがい用水として、さらには生活用水として、現在まで絶え間なく利用され続けています。



▲深良川の水を引き込む古川堰

世界に誇れる深良用水

平成18年2月、深良用水は日本の農村環境の保全形成に貢献する優れた用水であるとして、農林水産省が認定する^{そすい}疏水百選に選ばれました。また、平成26年9月には、手掘りで掘り進められた深良用水の高度な技術や、歴史的、社会的価値が国際的にも広く認められ、国際かんがい排水委員会(ICID)が認定する世界かんがい施設遺産に登録されました。



▲^{そすい}疏水百選の認定証



▲世界かんがい施設遺産の登録証

深良用水の偉業を次の世代へ

深良用水通水350周年記念誌の発行

深良用水通水350周年記念事業の一環として、記念誌を作成しました。深良用水の過去の資料を補完し、新たな調査記録や地域との関わりなどについても記載され、子どもにも読みやすい内容になっています。

この記念誌は一般には販売していませんが、芦湖水利組合で通水300周年を記念し、昭和39年に発刊された「深良用水の沿革」、昭和54年に再版された「深良用水の沿革」と共に電子書籍化され、市公式ウェブサイトからご覧になれます。



映像でトンネル内部を体験

(独) 国立高等専門学校機構沼津工業高等専門学校と連携し、360°カメラを搭載した撮影機器をトンネル内に流し撮影したバーチャル・リアリティー映像をYouTubeで公開しています。普段見ることができないトンネル内部の様子をご覧ください。

📺世界かんがい施設遺産 深良用水^{ずいどう}隧道内VR動画①
(裾野市) ▶ https://youtu.be/LmddaI_34xo

📺世界かんがい施設遺産 深良用水^{ずいどう}隧道内VR動画②
(裾野市) ▶ https://youtu.be/BP9A1W_P9Mw

3月2日(月)に記念の壁画を披露

3月2日(月)、深良小学校グラウンド東側で、深良用水350周年の記念壁画が披露されました。深良用水350感謝祭実行委員会が企画したもので、深良地区の小・中学生から応募のあった88作品の中から、神戸^{やすたか}泰崇さん(深良小6年)と勝又^{りう}俐宇さん(深良中1年)の2つの作品がモチーフとなっています。

当時の穴掘り作業や深良用水がもたらした恵み、用水を流れる水の様子など、子どもたちが感じた深良用水への感謝の思いが表現されています。

実行委員会会長の大庭満治さんは「深良用水の偉業

を、50年先の400周年になっても皆さんで伝えていってほしいです」とあいさつしました。



深良用水まつりの開催

深良用水を築き上げた先人の偉業に感謝の気持ちを表そうと、平成26年から「深良用水まつり」が開催されています。当時の深良地区区長会の皆さんが中心となり、地区住民主体の事業としてスタートしました。江戸時代の衣装を再現し、通水を祝い地区内を練り歩く仮装行列をはじめとしたさまざまなイベントに、地区内外から多くの人々が訪れています。

今年の深良用水まつりは特別に「深良用水350感謝祭」と題し、開催します。



深良用水350感謝祭の延期

4月26日(日)に予定されていた深良用水350感謝祭は秋に延期となりました。日程は調整中です。

📞深良支所 992-0400